





安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告


異常・故障時には直ちに使用を中止する
異常があったときには、電源プラグを抜く

- 煙が出たり、異常なおいや音がある
- 音が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い

電源プラグ
・本体に変形や破損した部分があるを抜く


そのまま使うと火災・感電の原因になります。
●電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない
(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)

 傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。


●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたたりぬらしたりしない

 ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。


●機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
●特にお子様にはご注意ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使用かたや、交流100 V以外での使用はしない

 たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。


注意

異常に温度が高くなるところに置かない

 温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。


●直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
●また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

放熱を妨げない

 内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

●底面や側面の通風孔をふさがないでください。
●また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

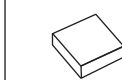
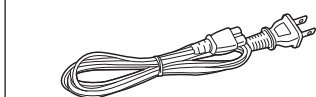

 通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

電源プラグを抜く

付属品

付属品をご確認ください。

付属品の品番は、2011年1月現在のものです。変更されることがあります。

<input type="checkbox"/> 付属足 (12個) (RKA0248-K)	<input type="checkbox"/> 電源コード (1本) (K2CA2CA00024)	<input type="checkbox"/> 音声接続コード (1本) (RJL2S003B15)
		

- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。

CLUB Panasonic
Pana Sense

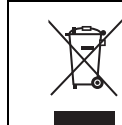


付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。
<http://club.panasonic.jp/mall/sense/>
携帯電話からもお買い求めいただけます。
<http://p-mp.jp/cpm>

お手入れ

- 電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので、使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

ーこのマークがある場合はー



ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報
このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

仕様

■ アンプ部

実用最大出力	40 W (6 Ω、JEITA) Lch 20 W (6 Ω、JEITA) Rch 20 W (6 Ω、JEITA) 0.07 % (1 kHz)
全高調波歪	0.07 % (1 kHz)
信号対雑音比 (S/N 比) 20 kHz LPF	95 dB (1 kHz、音量：大、明瞭ボイス：入)
音声入力端子	φ3.5 mm ステレオミニ
入力感度	830 mV (1 kHz、音量：大、明瞭ボイス：入)
入力インピーダンス	1 kΩ
寸法（メインセットのみ）	200 mm × 187 mm ×59 mm（幅 × 高さ × 奥行き）
質量（メインセットのみ）	約 0.91 kg

■ スピーカーシステム部

形式	1 ウェイ 1 スピーカーシステム (バスレフ型) 6.5 cm コーン型 フルレンジ 6 Ω
インピーダンス	109 mm × 341 mm ×110 mm (幅 × 高さ × 奥行き)
寸法（スタンド込み）	235 mm × 77 mm ×86 mm (幅 × 高さ × 奥行き)
質量（スタンド込み）	約 0.82 kg（1 本）
質量（スタンド除く）	約 0.64 kg（1 本）
防磁設計	非対応

■ 総合

電源	AC100 V、50/60 Hz
消費電力	17 W
待機電力	
電源スイッチ [切] および [オート]（スタンバイ状態）時	約 0.05 W
許容動作温度	0℃～40℃
許容動作湿度	20％～80％RH（結露なきこと）

注）この仕様は、性能向上のために変更することがあります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは・・・

■ まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	()	—
電話	()	()
お買い上げ日	年	月 日

修理を依頼されるときは・・・

「故障かな!？」でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

●製品名	アンプスピーカーシステム
●品番	SC-HTE1
●故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
保証期間：お買い上げ日から本体1年間

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用
※ 補修用性能部品の保有期間	8 年

当社は、このアンプスピーカーシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

- 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。
ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

- 使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

パナソニック お客様ご相談センター

電話 365日 受付9時～20時

フリーダイヤル **0120-878-365**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- 修理に関するご相談は・・・

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 365日 受付9時～20時

フリーダイヤル **0120-878-554**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただきます。ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただきますののために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■ 各地域の 修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。 ●地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただきます場合がございます。		
北海道地区	近畿地区	
札幌 ☎(011)894-1251 札幌市厚別区厚別南2丁目1-7-7	滋賀 ☎(077)582-5021 守山市水保町1166番地の1	
旭川 ☎(0166)22-3011 旭川市2条通16丁目1166	京都 ☎(075)646-2123 京都市南区上鳥羽中河原3番地	
帯広 ☎(0155)33-8477 帯広市西20条北2丁目2-3-3	大阪 ☎(06)7730-8888 大阪市城東区関目2丁目15-5	
函館 ☎(0138)48-6631 函館市西結梗589番地241 (函館流通卸センター内)	奈良 ☎(0743)59-2770 大和郡山山市高井町800番地	
東北地区	和歌山 ☎(073)475-2984 和歌山市中島499-1	
青森 ☎(017)775-0326 青森市大字浜田字雲田364	兵庫 ☎(078)796-3140 神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4	
秋田 ☎(018)868-7008 秋田市外旭川字小谷地3-1	中国地区	
岩手 ☎(019)645-6130 盛岡市原川1丁目1-43	鳥取 ☎(0857)26-9695 鳥取市安長295-1	
宮城 ☎(022)387-1117 仙台市宮城野区原町7-4-18	米子 ☎(0859)34-2129 米子市米原4丁目2-33	
山形 ☎(023)641-8100 山形市平清水1丁目1-75	松江 ☎(0852)23-1128 松江市平成町182番地14	
福島 ☎(024)991-9308 郡山市竜田1丁目51-15	出雲 ☎(0853)21-3133 出雲市渡橋町416	
首都圏地区	浜田 ☎(0855)22-6629 浜田市下府町327-93	
栃木 ☎(028)689-2555 宇都宮市上戸祭3丁目3-19	岡山 ☎(086)242-6236 岡山市北区田中138-110	
群馬 ☎(027)254-2075 前橋市箱田町325-1	広島 ☎(082)295-5011 広島市西区南観音1丁目13-5	
茨城 ☎(029)864-8756 つくば市筑穂3丁目15-3	山口地区	
埼玉 ☎(048)728-8960 桶川市赤堀2丁目4-2	山口 ☎(083)973-2720 山口市小郡下郷220-1	
千葉 ☎(043)208-6034 千葉市中央区末広5丁目9-5	四国地区	
東京 ☎(03)5477-9700 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	香川 ☎(087)868-6388 高松市寿町152-2	
山梨地区	徳島 ☎(088)624-0253 徳島市沖浜2丁目36	
山梨 ☎(055)222-5822 甲府市宝1丁目4-13	高知 ☎(088)834-3142 高知市仲田町2-16	
神奈川 ☎(045)847-9720 横浜市港南区日野5丁目3-16	愛媛 ☎(089)905-7544 愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	
新潟地区	九州地区	
新潟 ☎(025)286-0180 新潟市東区東明1丁目8-14	福岡 ☎(092)593-8002 春日市春日公園3丁目48	
中部地区	佐賀 ☎(0952)26-9151 佐賀市鍋島町大字1戸字上深町3044	
石川 ☎(076)280-6608 金沢市玉鉾2丁目266番地	長崎地区	
富山 ☎(076)424-2549 富山市根家町1丁目1-4	長崎 ☎(095)830-1658 長崎市東町1919-1	
福井 ☎(0776)21-0622 福井市問屋町2丁目14	大分 ☎(097)556-3815 大分市萩原4丁目8-35	
長野 ☎(0263)86-9209 松本市寿北7丁目3-11	宮崎 ☎(0985)63-1213 宮崎市本郷北方字草葉2099-2	
静岡 ☎(054)287-9000 静岡市駿河区高松2丁目24-24	熊本地区	
愛知地区	熊本 ☎(096)367-6067 熊本市健軍本町12-3	
愛知 ☎(052)819-0225 名古屋市瑞穂区堀込町8-10	天草地区	
岐阜 ☎(058)278-6762 岐阜市中郷4丁目42	天草 ☎(0969)22-3125 天草市港町18-11	
高山 ☎(0577)33-0613 高山市花園町3丁目82	鹿児島地区	
三重 ☎(059)254-5520 津市大屋野村町字山神421	大島 ☎(0997)53-5101 奄美市名瀬朝仁町11-2	
沖縄地区	沖縄 ☎(098)877-1207 浦添市城間4丁目23-11	

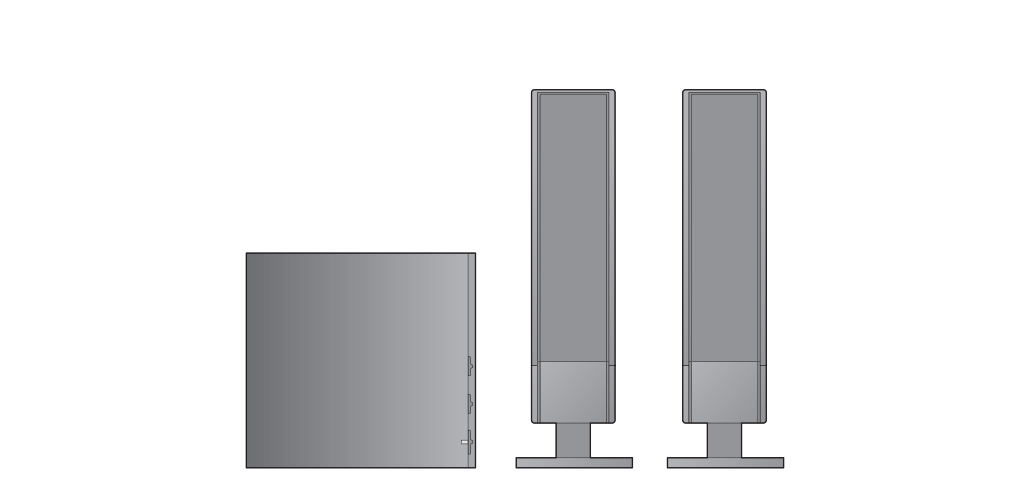
所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
<http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html>

Panasonic

取扱説明書

アンプスピーカーシステム

品番 SC-HTE1



保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 本機はアンプとスピーカーで構成されます。

本機 SC-HTE1	
アンプ	SU-HTE1
スピーカー	SB-HTE1

VQT3M76

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC **http://club.panasonic.jp/** 携帯 

※このサービスは WEB 限定のサービスです。

- 使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

パナソニック 総合お客様サポートサイト

<http://panasonic.co.jp/cs/>

パナソニック お客様ご相談センター

電話 365日 受付9時～20時

フリーダイヤル **0120-878-365**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞きたら電話機ボタンの「87」と「990＃」を押してください。
(番号を押しても案内が通く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。)

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**
■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03)3256-5444 Osaka (06)6645-8787
Open:9:00-17:30
(closed on Saturdays/Sundays/national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。
ご了承ください。

- 修理に関するご相談は・・・

パナソニック 修理サービスサイト

<http://club.panasonic.jp/repair/>

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 365日 受付9時～20時


フリーダイヤル **0120-878-554**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

●有料で宅配便による引取・配送サービスも承っております。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

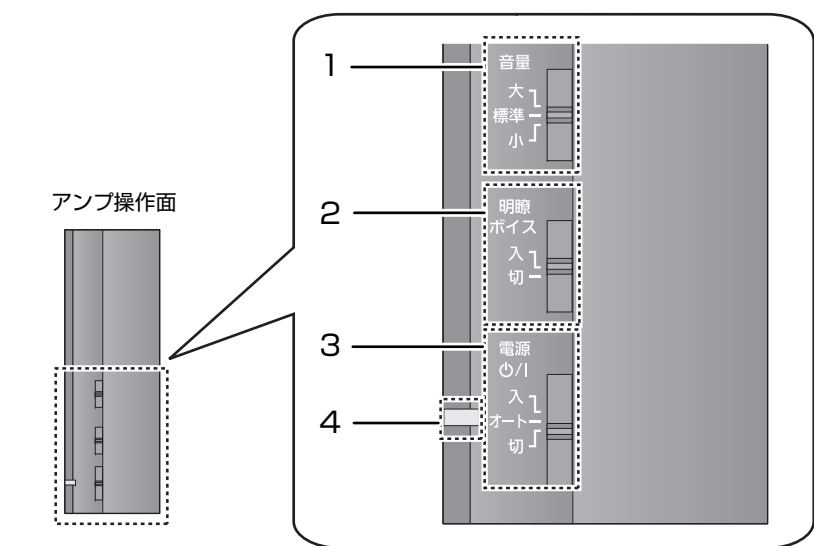
愛情点検	長年ご使用のアンプスピーカーシステムの点検を!	
	こんな症状はありませんか	ご使用中止
	・煙が出たり、異常なおいや音がある ・音が出ないことがある ・内部に水や異物が入った ・本体に変形や破損した部分がある ・その他の異常や故障がある	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社
AVC ネットワークス社 ネットワーク事業グループ
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2011

VQT3M76
F011KA0

1 各部の名前とはたらき



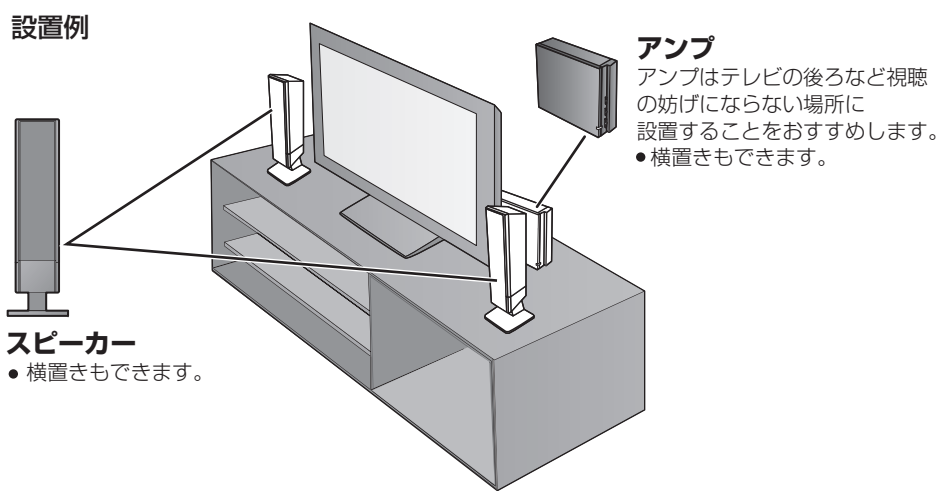
- | | |
|----------------|--|
| 1 [音量]スイッチ | 音量を調整します。通常は[標準]に設定します。 |
| 2 [明瞭ボイス]スイッチ | [入]: テレビドラマや野球解説などの音声を聞き取りやすくし、またテレビ画面の方向から音が聞こえてくるような効果が出ます。
[オート]: テレビが認識できるレベルの音声信号がテレビからアンプに入ってくると、自動でアンプの電源が入ります。5分間テレビからの音声信号がない場合は自動でスタンバイ状態になります。 |
| 3 [電源 〇/I]スイッチ | [入]: 電源を入れたままにします。
[オート]: 電源を切ったままにします。
[切]: アンプが動作しているときに点灯します。 |
| 4 電源ランプ | |

2 設置する

■ 設置前のお願い

スピーカーの設置方法によっては音の聞こえかたが変わる場合があります。以下のことを参考にスピーカーを設置してください。

- 平らで安定した場所に設置する。
- 床、壁、コーナーに近づけて設置すると低音が増えます。
- スピーカーを持ち運ぶときは、スピーカー部とスタンド部の両方をお持ちください。



お知らせ

- スピーカーには左右の区別がありません。アンプの右端子につないだスピーカーはテレビの右側に、左端子につないだスピーカーはテレビの左側に設置してください。

■ 防磁について

- スピーカーは防磁設計ではありません。ブラウン管テレビの近くには設置しないでください。
- 磁気の影響を受けやすいものをスピーカーに近づけないでください。磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく働かなくなることがあります。

横置きする場合

アンプとスピーカーはそれぞれ横に置いて使うこともできます。

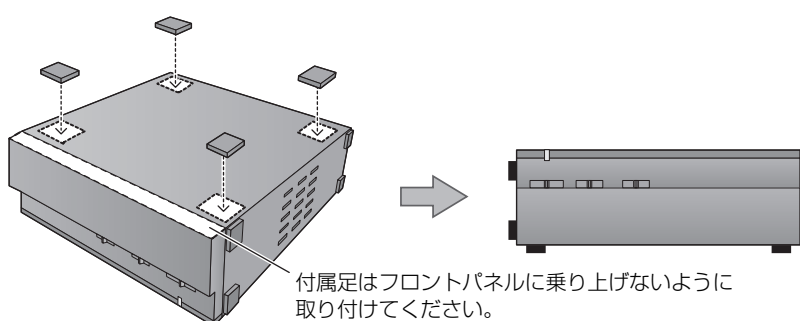
準備

- プラスドライバーを準備してください。
- 製品や床に傷がつかないように、作業は柔らかい毛布や布などの上で行ってください。

アンプを横置きする

付属足を取り付ける

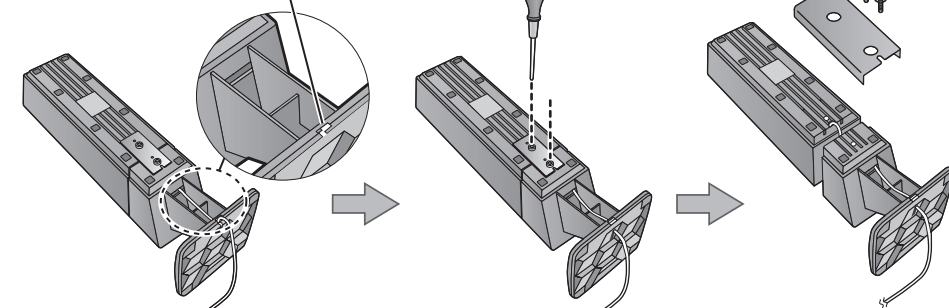
- 製品や設置場所に傷がつかないように、付属足（付属）のご使用をおすすめします。



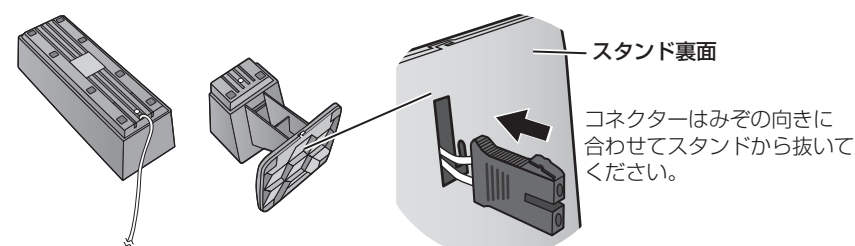
スピーカーを横置きする

1 ねじと金具を取り外す

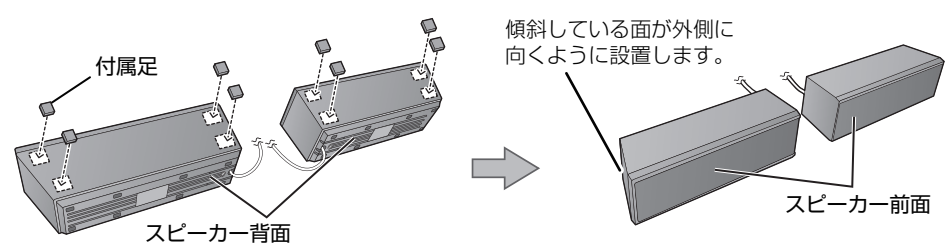
スピーカーケーブルは、ケーブルの固定用みぞから外してください。



2 スピーカーケーブルをスタンドから取り外す

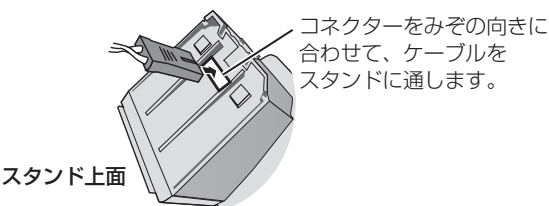


3 底面に付属足を取り付け、設置する

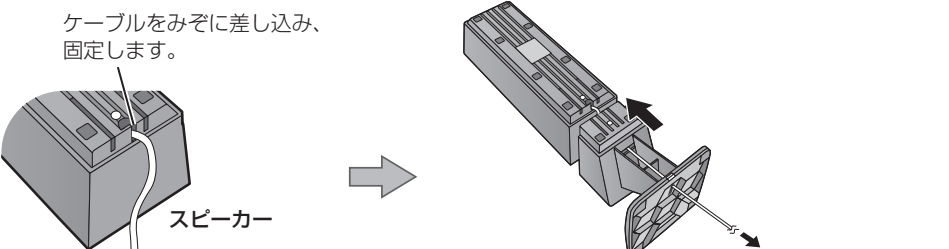


■ スタンドをもう一度取り付けるには

① スピーカーケーブルをスタンドに通す



② スピーカーケーブルをみぞに固定し、ケーブルを引きながらスタンドを合わせる



③ 手順1および2（上記）を参考に、取り外したスタンドを取り付ける

- ねじと金具でしっかりとスピーカーとスタンドを固定したあと、スピーカーケーブルをスタンドに固定してください。

お知らせ

- 取り外したスタンド、ねじ、金具は大切に保管してください。
- 付属足を頻繁に着脱すると粘着度が落ちます。

3 接続する

準備

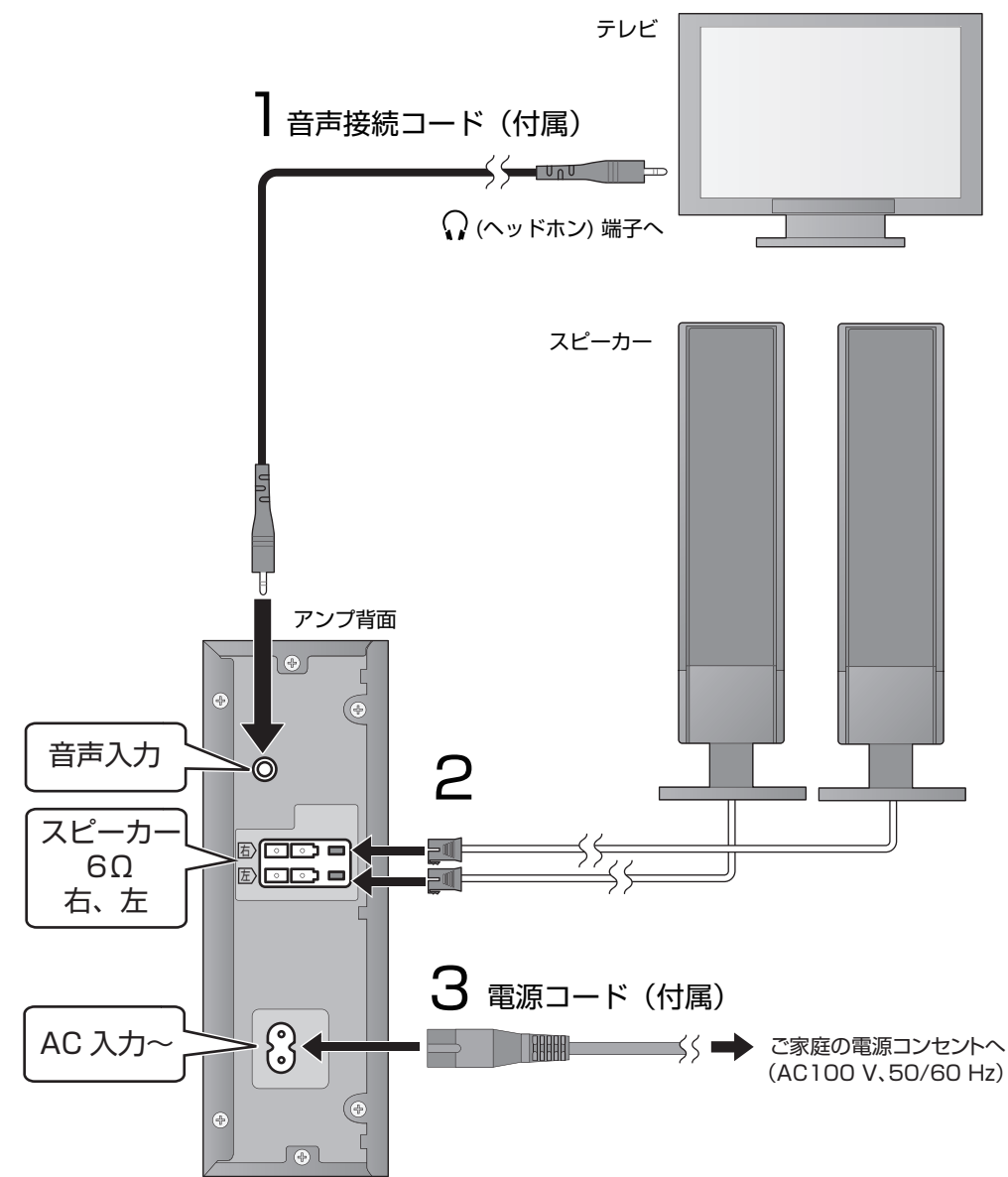
- 接続するときは、テレビの電源を切ってください。
 - 接続するテレビの取扱説明書もご覧ください。
- すべての接続が完了するまで、電源コードをコンセントに接続しないでください。

1 テレビの 〇（ヘッドホン端子）とアンプを音声接続コード（付属）で接続する

2 スピーカーをアンプと接続する

- スピーカーには左右の区別がありません。アンプの右端子につないだスピーカーはテレビの右側に、左端子につないだスピーカーはテレビの左側に設置してください。

3 電源コードを接続する



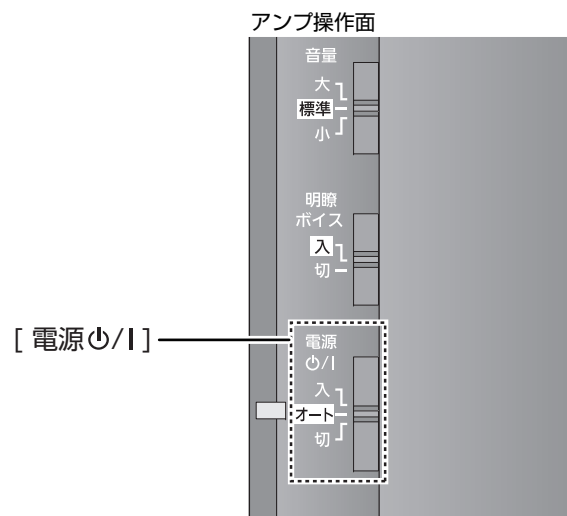
4 音を出す

1 テレビの電源を入れ、好きなチャンネルを選ぶ

- テレビのヘッドホン端子用の音量を下げてください。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

2 アンプの [電源 〇/I] スwitchを「入」か「オート」にする

- [入]: 電源を入れたままにします。
- [オート]: アンプが認識できるレベルの音声信号が、テレビからアンプに入ってくると、自動でアンプの電源が入ります。通常は「オート」に設定してください。



3 テレビ側でテレビの音量を調整する

- アンプの音量スイッチは「標準」に合わせておくことをおすすめします。スピーカーからの音量が、テレビと比べて「小さい」と感じるときは、アンプの音量設定を「大」に、テレビと比べて「大きい」と感じるときは、アンプの音量設定を「小」にしてください。

お知らせ

- 長期間使用しないときは節電のため電源プラグを抜いておくことをおすすめします。電源プラグを抜くときは必ずアンプの電源を切ってから抜いてください。

故障かな！？

故障かな？と思ったら以下の項目を確認してください。それでも直らないときや、症状が載っていないときは販売店にご連絡ください。

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントに正しく接続されているか確認してください。
- テレビの音量を上げてみてください。アンプの電源スイッチが「オート」に設定されている場合、テレビの音量が小さすぎると、アンプの電源が自動で入らないことがあります。

電源が切れない

- 接続したテレビによっては、電源スイッチを「オート」に設定しても自動でアンプの電源が切れない場合があります。その場合は、アンプの電源スイッチを「切」に設定してください。

音が出ない

- 電源スイッチが「切」になっていませんか？
- スピーカーや音声接続コードが正しく接続されているか確認してください。
- テレビの消音を解除してください。
- テレビの音量を上げてみてください。

片方のスピーカーからしか音が出ない

- モノラルテレビをご使用の場合は、市販の変換プラグアダプター（ステレオミニプラグ⇄モノラルミニプラグ）をお使いください。左右両方のスピーカーから同じ音が出ます。

音が小さい

- テレビの音量を確認してください。小さい場合はテレビの音量を上げてみてください。または、アンプの音量スイッチを「大」に設定してみてください。
- スピーカーや音声接続コードが正しく接続されているか確認してください。

音がひずむ、雑音が出る、または音が途切れる

- テレビ側でテレビの音量を下げてください。
- スピーカーや音声接続コードが正しく接続されているか確認してください。

テレビに色ムラが生じる

- テレビに色ムラが生じた場合、スピーカーをテレビから離してください。設置のしかたによっては、色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15分後～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合は、スピーカーをさらに離してご使用ください。

電源ランプが点滅し、音が出ない

- 電源を切り、電源プラグを抜いたうえで、販売店にご相談ください。